

(様式4)

平成28年 11月 14日

平成28年度 第2回 大阪府立東住吉支援学校 学校協議会 実施報告

校園名 大阪府立東住吉支援学校

校園長名 杉本幸一

日時	平成28年11月11日(金) 午前10時00分～午前11時15分	
場所	大阪府立東住吉支援学校 校長室	
出席者	委員など	本吉大介(会長) 二宮幹夫(副会長) 真野充代(副会長) 船戸正久(委員) 北畠正寛(委員:欠席) 家坂友之(委員)
	校園	杉本幸一(校長) 長尾浩一(准校長) 錦織和彦(教頭) 岩丸牧子(教頭) 富田淳(首席)
議題	(1) 平成28年度学校経営計画及び学校評価の進捗状況について (肢体不自由教育部門)(知的障がい教育部門) (2) 平成29年度教科書採択について (3) その他	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○進捗状況について、合意を得ることができた。	(1) ○地域支援について。 ・ケースによって保護者を交えての支援があるのはよいことだと思う。 ・継続が必要なケースについて。年単位で対応しており、1回に限らず、数回の場合もある。一度支援した後、数か月後に再訪問し、支援の様子をみる場合もある。 ・卒業後の進路に係る支援について。地域支援では、それぞれの段階に応じて見通しがもてるよう、話をさせていただいている。 ○進路について ・保護者から、卒業後の支援や施設の内容がよくわからないという声を聞く。就職率や離職率も含めて、府のHPに出すとよい。 ・生活介護の施設はかなり充実してきたと思う。しかし、就労継続・自立訓練の施設と生活介護施設の間施設がなく、力を持て余す生徒がいる現状がある。 ・更生療育センターの利用について。学校からの案内でいってみたが、あまりニーズにあっていなかった。 ○大阪市の看護師同乗タクシーについて。大阪市民のサービスとして、今年度も実施している。

	<p>(2) ○教科書採択について、合意を得ることができた。</p> <p>(3) その他 ○情報処理検定について</p>	<p>(2) ・支援学校は児童・生徒の障がいの状態・特性や発達段階への配慮や工夫等の観点より、教育委員会の審議をへて、採択する。</p> <p>(3) ○情報処理検定について ・本校での実施が難しい点については理解できた。学校単独での実施が困難であるなら、例えば支援学校全体で実施等工夫して、子どもたちが取り組めるようにしてほしい。 ・指導として、合理的配慮にあたる。差別解消法の視点からも、学校で実施できるよう、検討すべきである。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度学校経営計画及び学校評価 (肢体不自由教育部門) (知的障がい教育部門) ・平成 29 年度使用教科書採択一覧表 	
備考	<p>傍聴者[0]名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	